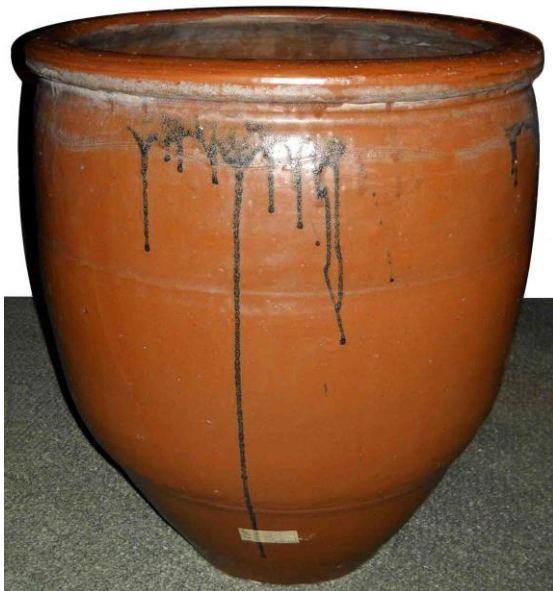


けんぱくものしりシート

みず 水がめ

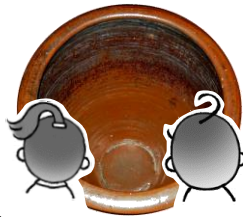


みず
水がめ



「水がめ」ってなんだろう？

ハクちゃん ケンくん



中には何も入っていないね。

名前なまえのとなりぐちにじゃ口えの絵があるのはどうしてかな？

水がめは、むかしひとの人が使つかっていた、
水を入れておくための入れものです。



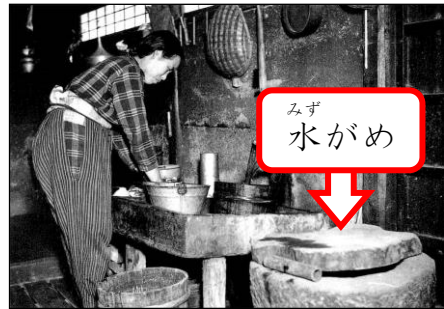
今の時代いまで考かんがえすいどうると水道すいどうのよやくわりうな役割はを果たしていたので、じゃ口ぐちの絵えが描かいてあります。

水がめには水道管すいどうかんがありませんよ??



各家庭かくかていに水道すいどうが引ひかれるよひとうになるまで、人ひとびとは井戸いどやきれいな川かわから
くんだ水みずを水がめみずにためて、料理りょうりに使つかったり、食器しょっきを洗あらったり、飲のみみ水みずとして
使つかったりしていたのです。

水をくむ → 水を運ぶ → 水を使う

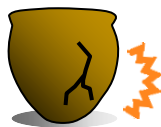


水みずの入はいった重おもたいバケツはこを運あるんで歩みずく「水くみ」作さぎょう業じょせいは、女こ性しごとや子こどもしごとの仕し事ごとでした。

みず 水がめあれこれ

▼何でできているの？

ねん土にうわぐすり（ガラス質の薬品）をぬって
焼いた焼き物（とう器）の他に
石を削って作られたものもあり
ました。とう器はひびが入り
やすいので取りあつかい注意！



やく 約 55 cm



▼中の水はきれいな？

いま すいどうすい こと しょうどく 水
今の水道水と異なり、消毒されていない水
でしたので、おなかをこわすこともありました。



1950年頃の日本には、水道を引いている家は25%ほどしかなく、多くの家で
水がめが使われていました。水をくんだり運んだりする作業は大変な上に、一度にため
られる量が限られていたことから、むかしの人びとは水を大切に使用していました。

国土交通省の調査によると、一人が一日に使用する

水の量は、1965年に169 L、2010年には

290 L と45年間で約1.7倍に増えています。



いつでも自由に使えるようになったからといって、もったいない

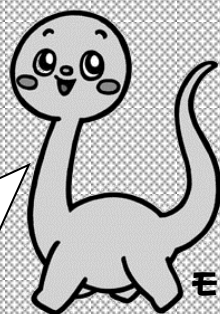
水の使い方をするのはまちがいですね。私もむかしの人のように水を
大切に使います!!まずはシャワーの強さを少し弱めてみようかな。



とても良い心がけですね! むかしの道具を調べることは、私たちの生活を
ふりかえる良いきっかけにもなりますね。

参考 『岩手県史 第11巻 民俗篇』 岩手県 1965年 / 『昔のくらしの道具事典』 株式会社岩崎書店 2004年 他
写真(水をくむ・水を運ぶ・水を使う) 『写真ものがたり 昭和の暮らし 1 農村』 社団法人 農山漁村文化協会 2004年

らいげつ がつ
来月(11月)の
けんぱくものしりシートは
げんせい せいぶつ
現勢・生物-15だよ!
おたのしみに!



モッチャン



岩手県立博物館

〒020-0102 岩手県盛岡市上田字松屋敷34
Tel. 019-661-2831 Fax. 019-665-1214
<http://www2.pref.iwate.jp/~hp0910/>